

月刊

書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No37～

平成28年

6月号

毎月10日発行

一般社団法人日本書字文化協会

代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 東京都中野区中野2-13-26 第一岡ビル3階

電話03-6304-8212 FAX03-6304-8213

Eメールinfo@syobunkyo.org

ホームページ<http://www.syobunkyo.org>

目次

第5回総合大会での見送り部分について	2
コラム「こころ」	3
えんぴつグリップを試験販売	4
第4回伝統文化大会入賞者名簿	4
第2回臨書展報告///	5

コラム

「きのう 今日 あす」（渡邊啓子・副会長）「教学半」（池田圭子・教学
参与）は休載しました。

第5回総合大会変更

硬筆席書の部、学生展改称は見送り

この夏の第5回全国書写書道総合大会は、基本的な骨組みは変更せず第4回と同一で実施いたします。第5回総合大会について機関紙「月刊書字文化5月号」の「新年度活動方針」で、全国硬筆コンクールに席書の部を設置、また全国学生書写書道展を全国毛筆コンクールに改称する予定をお知らせしましたが、その後、書塾、学校など各方面から意見を聴取した結果、さらに試行を重ねることとしたものです。

流派を超えた書写書道の学びを提唱する書文協としては、公正な切磋琢磨の場である大会運営においても試行・検討を重ね、コンセンサスを形成したいと思っております。また、新年度方針では、事前登録制度を完全実施、検定・ライセンス試験制度の変更など重要方針も多く盛り込んでいます。新年度もある程度進んでいることから、大会関係の改革を同時に行うことは無理を強いる場合があるとも判断しました。皆様にはこれからも書文協に忌憚ないご意見をお寄せいただき、ご指導いただけますようお願い申し上げます。

自由課題、ひら・かき毛筆の部は廃止

部分的には、いくつかの変更は実施されます。

すべてのコンクールで課題は指定課題1本とし、自由課題はなくします。書文協の書写書道大会は「用美一体」の書風と高い評価をいただいている大平恵理（書文協会長）揮毫の見本手本を毛筆、硬筆共に作成。また、指定課題作品のどこが判定されるのかをポイント指導する「評価の観点」を公表しています。大会参加が即、書写書道の学びとなることを期待したものです。この措置をさらに徹底するため、課題は指定課題1本としました。

用紙が異なれば3点まで応募可（毛筆公募）

これにより、全国学生書写書道展(毛筆)は公募の部も席書の部も同一課題になり、硬筆（公募）も指定課題1本になります。ただ、公募の場合は用紙（半紙、八ツ切、半切）が違えば、同じ課題でも3点まで応募できます。

団体審査（1審）割引は5%に

応募前に各団体で順位を明示する団体審査は尊重され、応募料の10%を割引いていましたが、これを5%割引とします。審査結果はこれまで以上に尊重されますが、団体の審査力向上のため本部審査をきめ細かくします。

こ ろ

書文協会長 大平 恵理

継続する力こそ



今月号では、皆様に大きな修正をお知らせすることになりました。左の1面にあります第5回全国書写書道総合大会の件です。前号の「新年度活動方針」では総合大会でも数々の改革を行う方針をお伝えしましたが、特に大幅に変わる硬筆席書の部の設置と全国学生書写書道展の毛筆コンクールへの改称は今回は見送り、十分に準備を重ねた後に実施することといたしました。途中変更で皆様には大変ご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。

書文協が最も大事にしているのは運営の公共性の堅持と公益に資すること、そして書の学びの継続です。方針発表後にも多方面と協議を続けましたが、さらに時間をかけることが大切と判断しました。書文協として実施能力をさらに高め、また、全国の教室、生徒さんたちのことをさらに考えることが大事と思います。東京・中野に本部を設置して6年。多くの先生方の熱心なご指導、ご協力を得てここまで参りましたが、現場の声をより多く聞き、推進することを学びたいと思います。

今回の見送りの決断は、あくまで継続の力を養うためでございます。さらに大きく踏み出すための準備にしたいと思います。現状をよく知り、方策に思慮を尽くし、改めて推進の力を養うことが肝要であると認識しております。

書文協は、書写書道を生涯教育とするため、学校教育と社会教育を橋渡しする存在でありたいと考えています。このことから、学習指導要領の遵守、学校教育との連携を理念としています。それ以上に、生涯教育の場となる各教場を大事にしてまいりたいと考えています。書文協のこの基本理念をご理解いただき、今後とも多くのお声を寄せてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

えんぴつグリップを試験販売

えんぴつできれいに文字を書くために、グリップを付けて書くことが推奨されます。細いえんぴつを握って筆圧を紙に伝えるには、グリップが有効であるからです。こうしたことから、書文協では、えんぴつ書きでのグリップ使用の奨励を強めていくことにしました。

ところが、グリップの内径がえんぴつになかなかマッチせず、使いづらいことがままあります。このため、書文協ではより使いやすいグリップを製造販売事業者が作れるよう、働きかけていきたいと思っております。この一環として、N社製のグリップを1個（えんぴつ1本用）35円で販売いたします。数に限りがありますので、なくなり次第、試験販売は終了いたします。各団体のご意見をお聞きしたいので、お気軽に書文協本部にお問い合わせください。

第4回伝統文化大会入賞者名簿

3月6日に表彰式が行われました第4回全国書写書道伝統文化大会（全国年賀はがきコンクール、学生書き初め展覧会）で特別賞（教育特別奨励賞含む）及び優秀特選ベスト10受賞者のお名前一覧冊子を受賞者以外の希望者に1部200円で配布いたします。送料はご負担ください。

希望者多数の場合は会員団体優先とさせていただきますのでご了承ください。お申込み締め切りは6月27日とさせていただきます。FAXあるいはお手紙に希望冊数、送付先を明記して書文協本部にお送りください。書式は自由です。



第2回臨書展報告書

ご挨拶

渡邊啓子 第2回臨書展実行委員長（書文協副会長）



ご存知のように、漢字は3300年前、古代の中国で生まれ3世紀ごろ日本に伝来しました。文字を持たなかった日本民族は、漢字から仮名を生み出し、漢字・仮名交じりの日本語が出来上がったのです。

日中はまさに同文の隣国なのです。臨書は書写書道の大事な学びであると同時に、両国の人々が互いに文化理解を深める上でも有効です。日本寒山寺を抱く沢井の地を舞台に、今年も開催が出来ました。出品者、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

* * * * *

第2回臨書展には約800点の応募があり、審査は5月5日、書文協中央審査委員会副委員長の加藤東陽・東京学芸大学名誉教授（日本武道館書道大会審査リーダー）、同委員の加藤堆繫・同大学教授（文部科学省教科調査官）により厳正に行われ、大賞以下各賞が決まりました。

第2回臨書展実施要項は下記の通り（抜粋）

主催 一般社団法人日本書字文化協会
後援 青梅市（東京都）日本中国友好協会 中国書法学院
蘇州・寒山寺 中国国立南京芸術学院 蘇州 吳昌碩研究会

応募資格 全部門とも毛筆、年齢不問
部門

臨書の部（用紙は半切ないし八ッ切 縦使用、縦書き）

指定課題 張継作「楓橋夜泊」寒山寺碑文臨書

自由課題 高校書道教科書から

楷書筆写の部（用紙は半紙ないし八ッ切 縦使用、縦書き）

・1字（次のうち、どれか1文字） 月 満 天 漁 火 城 外

・2字 漁火 3字 寒山寺

（楓橋夜泊に出てくる28文字のうち日本の教育漢字にある10文字について大平恵理（書文協会会長）が手本として揮毫したものです。

大賞以下優秀賞受賞者は以下の通り

<大賞>

大学院1年 下山晴生（東京都）

<日本書字文化協会会長賞>

小4 植田慎二郎（大阪府）

大1 六佐真也子（大阪府）

一般 杉本龍峰（山梨県）

<青梅市日本中国友好協会会長賞>

中2 池田萌華（神奈川県）

<優秀賞>

小2 檜本佳怜（大阪府）

小3 新納愛梨（東京都）

小5 大柿幸大（大阪府）

小5 小石妃奈乃（東京都）

小5 竹内諒（東京都）

小5 新納琉斗（東京都）

小5 藤本唯杏（東京都）

小6 森あかね（東京都）

小6 峯田彩世（東京都）

中1 近藤雄大（東京都）

中1 鮫島世玲菜（東京都）

中2 浅地茜里（大阪府）

中2 大平知雅（東京都）

中2 近藤乃愛（秋田県）

中3 大平麗雅（東京都）

中3 竹内真菜永（東京都）

高2 川崎木乃葉（東京都）

大2 阿部智恵（大阪府）

大3 樋口友紀（東京都）

一般 新子由希子（大阪府）

一般 山本恵子（大阪府）

優秀作品展

場所

澤乃井ガーデンギャラリー

（東京都青梅市沢井）

期間

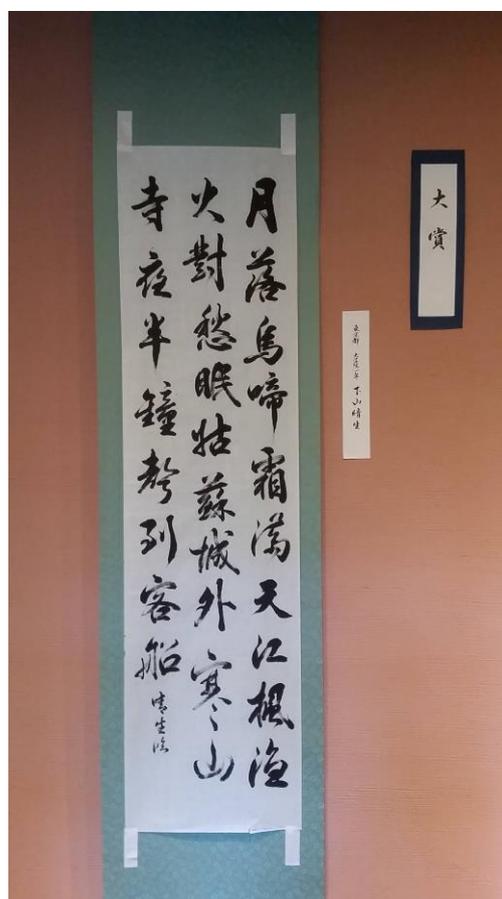
平成28年5月31日（火）

～6月5日（日）

時間

10:00～16:00

最終日は14:00まで



〈大賞〉

下山

〈会長賞〉

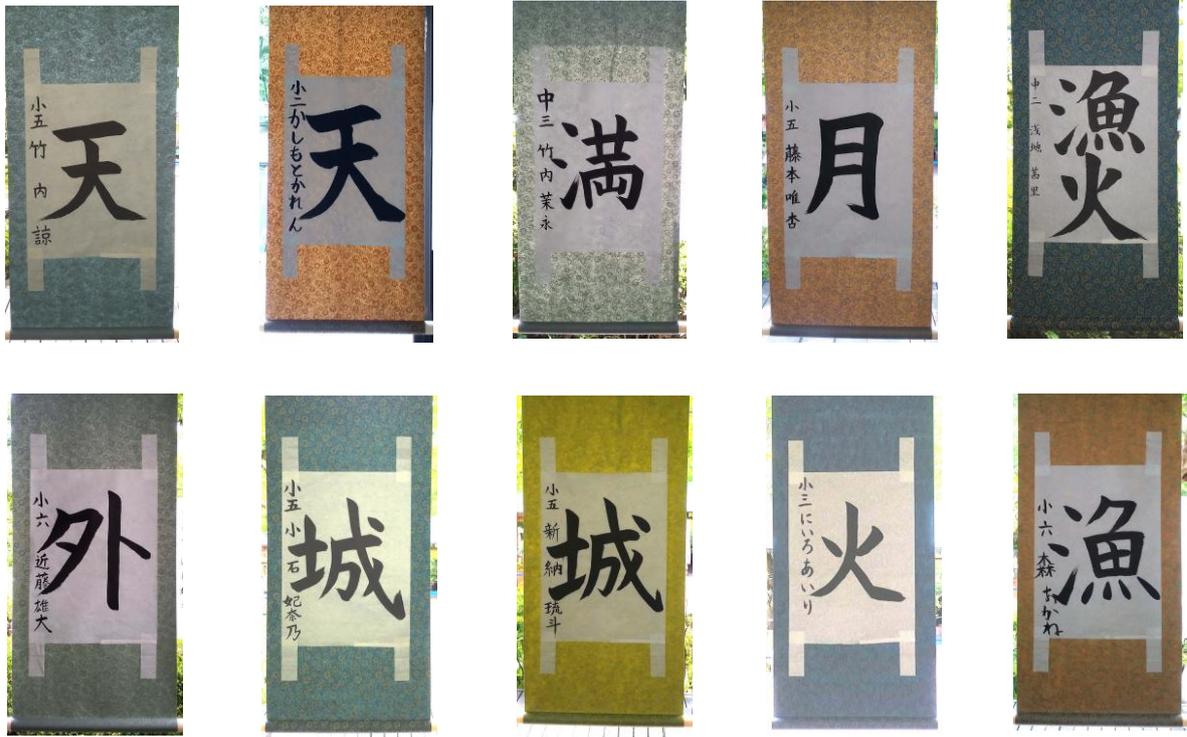


右から、植田、杉本、六佐、池田

〈優秀賞〉



寒山寺鐘樓



展示室では26人の優秀作品と書文協書写書道専修学院青梅教室生13人の習作を掲示しました。日本酒造の見学に来た外国の人たちも多く詰めかけ、日本の伝統文化を代表する書道を熱心に鑑賞していました。

出展した青梅教室生徒は以下の通り。

【専修学院青梅教室】

- | | |
|----------|----------|
| 小1 中村陽歩 | 中3 竹内茉永 |
| 小2 関口美夢 | 高2 川崎木乃葉 |
| 小5 乙部愛菜 | 大2 北澤里茶 |
| 小5 加藤陽太 | 一般 大本啓子 |
| 小5 小石妃奈乃 | 一般 波多野明子 |
| 小5 下島陸叶 | 一般 吉永久美子 |
| 小5 竹内諒 | |



ギャラリーの外観



多摩川から臨む日本寒山寺

